

平成30年度 勸修福祉会事業報告書

I. 法人本部の事業報告

1) 基本方針

- ・ 公益性・非営利性といった社会福祉法人の自覚を持ち、初代理事長の法人創設の想いである社会還元
の精神で地域社会に貢献するため、各事業所が地域の社会資源として評価されるよう連携し、地域に根
ざした法人運営を行っていく。
→ 基本方針や法人理念の徹底のため、創設の想い及び理念の唱和を定期的に行い、徹底を図るととも
に新人研修においても基本方針や理念の説明や徹底を行った。
- ・ 昨年度に引き続き、介護報酬改定による収入減少を事業所間の連携で稼働率を上げ、法人全体の収支
が黒字になるよう努力する。
→ 寛ぎの家、勸修地域包括、かんしゅうケアプランセンターはおおむね黒字であったが、長楽園では感
染症の発生等の影響もあり、勸修デイは稼働率低下により赤字となり全体でも赤字決算となり目標を
達成できなかった。
- ・ 法人として職員の確保、育成、定着に向けた体制整備を強化していく。
→ 法人として就職フェアに参加し、育成、定着支援として法人内階層別研修を行った。

2) 目標

- ・ 利用者や地域より高い評価を得られるよう質の高いサービスの提供に職員一丸となって取り組む。
→ 地域参加の取組を積極的に行い一定の評価を得られたと思う。また、他の事業所からも勸修福祉会の
事業所は安心できると一定の評価を受けられた。
- ・ 各事業所の掲げた稼働率の達成と各事業所間の連携強化により収益率の黒字化を目指す。
→ 法人全体で赤字決算となり目標を達成できなかった。

3) 事業報告

(1). 各事業所の運営

- ① 介護老人福祉施設特別養護老人ホーム 長楽園の運営
(診療所運営含む)
- ② 短期入所生活介護事業所特別養護老人ホーム 長楽園の運営
(予防含む)
- ③ 居宅介護支援事業所かんしゅうケアプランセンターの運営
- ④ 通所介護事業所京都市勸修老人デイサービスセンターの受託運営
(予防含む)
- ⑤ 京都市勸修地域包括支援センターの受託運営
- ⑥ 小規模多機能型居宅介護事業所寛ぎの家勸修の運営

(2). 役員会の開催

会議	開催日	出席者数	議案
理事会(第149回)	5月30日	8名 (内監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告の承認に関する件 ・平成29年度決算の承認に関する件 ・理事長の職務執行状況の報告に関する件 ・社会福祉充実計画に関する件 ・長楽園風呂場回収に関する件 ・役員、評議員及び評議員選任・解任委員の報酬等に関する規定の一部改正に関する件
理事会(第150回)	11月5日	8名 (内監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・台風21号により被害を受けた長楽園の屋根改修工事に関する件 ・第1号議案の改修工事に合わせた長楽園建物防水塗装工事の件 ・理事長の職務執行の報告に関する件 ・西日本豪雨災害及び北海道胆振東部地震災害に対する義援金の支出に関する件
理事会(第151回)	3月15日	8名 (内監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・浅野ひさ子遺贈金積立金の取り崩しについて ・平成30年度収支補正予算案の承認に関する件 ・平成31年度事業計画案の承認に関する件 ・平成31年度当初予算案の承認に関する件 ・平成30年度決算にかかる定時評議員会の招集に関する件
評議員会(第48回)	6月25日	8名 (内監事1名) 欠席1名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告の承認に関する件 ・平成29年度決算の承認に関する件 ・役員、評議員及び評議員選任・解任委員の報酬等に関する規定の一部改正に関する件

監事監査	5月21日	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告について ・平成29年度決算報告について ・理事の業務執行状況について
------	-------	----	--

(3). 役員の変更

・平成30年度の役員の変更なし。

(4). 職員の異動状況

	介護職員		看護職員		相談員及びケアマネジャー		その他	
	採用	退職	採用	退職	採用	退職	採用	退職
常勤	2名	4名	1名	1名	0名	1名	2名	1名
非常勤	4名	5名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(5). 各種表彰

① 永年勤続表彰

20年勤続表彰(1名) … 堂芝博道(勸修デイ)

5年勤続表彰(6名) … 熊智臣(長楽園)平井大介(長楽園)伊吹省子(長楽園)植田好美(長楽園)

② 資格取得者表

社会福祉士…小山信二郎(長楽園)
介護福祉士…中野美和(長楽園)河辺真奈美(勸修デイ)小泉映子(勸修デイ)

(6). 法人内の研修体制の充実

・法人内に法人研修委員会を設立し各事業所より委員を選任するとともに研修の充実を図る。

→ 課長会議において、法人内研修の企画立案し下記のとおり開催した。

・法人内新人研修 4/29 講師:伊藤課長

・法人リーダー・管理職研修 3/11 講師:うたの 施設長 山岸孝啓氏

・法人全体研修 10/29 各事業所の取り組み事例の発表(京都市東部文化会館)

コメンテーター(河合氏(レーベン横大路施設長)・池田氏)

・資格取得支援講座の開催

(7). 地域貢献の取り組み

・地域交流サロン「ぽかぽかサロン」の実施(年6回)

・山科区市老協地域貢献プロジェクトへの参画

・京都DWATへの参画及び被災地派遣

岡山県真備町への派遣(7月)

(8). 大規模修繕

・9月4日に近畿地方に接近した台風21号の影響で、長楽園の屋根が大きな被害を受け、改修工事を行った。尚、工事に足場を組む工程があったため従来より改修が必要となっていた外壁の防水塗装工事も併せて行った。

・浴室の個浴化の大規模修繕実施。

(9). その他

・法人総会の開催…京都タワーホテルにて6/26に開催。

Ⅱ.各事業所の事業報告

1.社会福祉事業

(1)特別養護老人ホーム 長楽園(長期入所・短期入所)

1)基本方針

- ① 利用者一人ひとりの人格を尊重した介護サービスを提供し、『一人の人間としての尊厳』を守っていく。
 - 昨年度同様に意識付けは行っているが、日々の業務や感染症対応に追われると意識が低くなるなど課題が残る。今後も継続した取り組みを行っていきたい。
- ② 利用者一人ひとりが抱える困難性を理解し、想いやりと誠意を持った対応に努める。
 - 利用者体験研修から数年が経過し、意識として薄れている部分も多く、気付きや理解に繋がる仕掛け作りが必要となっている。
- ③ 仕事に妥協を許さないプロ意識、何でも言える職場風土、チームケアの重要性を理解して働ける環境作りに努める。
 - 年度途中でリーダーの異動にともない、チームの再形成に時間を要した部分大きい。チームリーダーの養成に課題が残る。
- ④ 職員一人ひとりが法人理念を理解した上で、社会的役割を認識し、地域福祉の拠点としての役割を果たしていく。
 - 虐待措置入所や高齢者虐待シェルター確保事業の受託など高齢者の権利擁護に努めると共に、近隣小学校との交流や圏域包括からの鍵預かり事業の受託など、社会的役割を意識した取り組みを行うことができた。

2)重点的な取り組みに対する成果及び評価

- ・新規入所案内の準備不足や年度内に2度の感染症発生があり短期受け入れを中止するなど、長期入所及び短期入所ともに年間平均稼働率97.3%に留まるに至った。
- ・浴室の改修工事により、好みの湯温で入浴頂ける個浴対応が可能となったことで、利用者の楽しみの時間の拡充に繋げることができた。
- ・職員研修の充実が図れておらず、階層別の研修や課題に合わせた研修の実施が急務となっている。
- ・近隣小学校との交流や地域の防災訓練への参加、地域住民との交流、地域の独居高齢者の鍵を預かる、鍵預かり実行委員会への参加など、地域の福祉拠点として存在感を発信することができた。

3) 行事・取り組みの報告

利用者関係 実習関係 その他(研修等)

月 日	行事名	行事内容
4月	花見散歩	勸修寺参道・山科川浴道など全利用者が参加
	家族会総会	家族会会員9名が出席(29日)
	法人開設記念行事	(一部)食事会・(二部)大学生による友愛訪問(29日)
5月	個別外出(外食企画)	くら寿司(15日)
	菖蒲湯	菖蒲湯(3日～5日 計3日間)
	遠足レクリエーション	京豆腐不二乃外食→京都タワー展望室(15日)
	遠足レクリエーション	京都市動物園(22日)
6月	寺西幼稚園友愛訪問	園児25名による歌や楽器の演奏披露(9日)
	個別外出(外食企画)	ラーメン横綱(4日)・くら寿司(5日)
	遠足レクリエーション	京都水族館(19日)
7月	七夕	園内や居室に笹を設置、七夕の飾り付けを実施
	ドライブレクリエーション	祇園祭り鑑賞(12日)
	手作りおやつ	アイスクリーム(17日)
	夏祭り	和太鼓龍船友愛訪問 カキ氷 ヨーヨー 輪投げ くじ引き等の出店(28日)
8月	ドッグセラピー	ポメラニアンなど4匹の犬と触れ合う(10日)
	合同慰霊祭	佛光院住職による読経、法話(14日)
	浴室改修工事	利用者用浴室改修工事 着工日
	個別外出(外食企画)	イノダコーヒー(21日)
9月	ぶどう狩り	恒例の園内の模擬棚によるぶどう狩り(2日)
	長楽園消防訓練	夜間想定(訓練終了後、消火器訓練あり)(19日)
	次世代の担い手育成事業	大宅小学校4年生児童6名の取材及び職場体験の受入予定も、園内風邪の流行にて中止となる。
	敬老祝賀会	食事会(握り寿司の面前提供)
10月	小野小学校交流事業	小野小学校4年生児童3クラスに出前事業実施(1日)
	個別外出(外食企画)	ガスト(2日)・ラーメン横綱(30日)
	園内運動会	3種目競技、中庭にて開催(7日)
	浴室改修工事	利用者用浴室改修工事 完成
	勸修寺神輿祭り	今年度より神輿巡航の際に、接待品を提供。利用者と地域住民との交流の場にも(21日)
	小野小学校交流事業	小野小学校4年生児童3クラスの見学・交流受入(24日)
	出張デパート	1階食堂を売り場に、出張デパートを開催(28日)
	家族会懇談会	家族会会員12名参加
11月	法人全体研修	学会形式にて東部文化会館(29日)
	小野小学校学習発表会	小野小学校にて、利用者1名参加(2日)
	介護の日記念事業	かいご みらい フェスに職員2名を派遣
	第三者評価受診	市老協による、第三者評価受診(15日)
12月	手作りおやつ	ホットケーキ作り(19日)
	義士祭 行列見学	浴道より鑑賞、利用者4名参加(14日)
	冬至	ゆず湯(20日～22日 計3日間)
	クリスマス会	サンタクロースからのお菓子のプレゼント(25日)
1月	元旦祝賀会	おせち料理にて新年を祝う(1日)
	初詣	折上神社へ(1日～3日)
	お茶会	飲み物とお菓子を楽しむ(2日)
	書初め	書初めをする(3日)
	餅つき大会	新年を祝う餅つき(家族会の協力あり・11日)
	新年会	(一部)面前にぎり寿司・(二部)カラオケ大会(14日)
	太神楽	獅子舞による御祓を受ける(21日)
2月	節分	園内感染症の発生により、中止(3日)
	登りこども園友愛訪問	園内感染症の発生により、中止(7日・14日)
	醍醐保育園友愛訪問	園内感染症の発生により、中止(25日)
3月	法人管理職・監督職研修	テーマ: 管理的職員に求められる倫理観(11日)
	消防訓練	昼間想定(訓練終了後、消火器訓練)(19日)

- * 歌声サークル 月1回 (ボランティア)
- * お誕生日会 月1回 (第2金曜日)
- * 面前料理を毎月実施
- * KESによる地域清掃活動 月2回 (第1・第3火曜日)

(2)京都市勸修老人デイサービスセンター

1)基本方針

- ① 職員一人ひとりが使命感を持ち、自分が利用したい、家族に利用させたいデイとなるべく、理想のデイ作りを心がける。
→ 理想のデイ作りの為に、日々の終礼や会議などで意見を持ち寄り、更なるサービスの向上に取り組んだが、求められる内容も年々変化してきており、今後はより柔軟な思考で検討していく必要がある。
- ② ご利用者が、在宅生活をその人らしく続けていけるよう、リハビリや楽しみを充実する。
→ 認知症の進行防止に力を入れ、脳トレ+体操やクイズ等、楽しみながら継続して実施してもらえるよう取り組み、利用者からの一定の評価は得られたが、新規の獲得には繋がらなかった。
- ③ 山科区における老舗のデイとして地域・家族・他事業所に信頼される施設作りを行う。
→ 信頼関係の構築の新たな手法として、デイでの取り組みや利用者のご利用時の様子をフェイスブックで情報発信する事も始めたが、十分な成果には結びつかず、周知方法に課題が残った。
- ④ 介護のプロとしての意識を持ち、自らの質の向上と笑顔とやりがいを持てる職場環境を作る。
→ 年末に管理者・サブリーダー等の退職による職員の減少もあり、個々の負担が増大してしまった。新体制で環境整備を行い、質の向上を図っていく。
- ⑤ 整理整頓の徹底…ご利用者をおもてなす心構えと、職員の働くための無駄を省く。
→ 整理整頓に取り組んだが十分ではなく、日々取り組めるように努める。

2)重点的な取り組みに対する成果及び評価

- ・給食会社を変更し、以前と比べて美味しいと満足度を上げることが出来、イベント食も好評であったが、宣伝による効果は足りず更なる広報に努める。
- ・短時間利用の受け入れ等利用者のニーズに合わせ幅広い時間帯の受け入れも行ったが、稼働率の向上には繋がらなかった。今後はより柔軟な対応と魅力的な特色を作り上げ、新規利用者の獲得ができるかが課題である。
- ・法人内事業所と連携を図り、すばやく受け入れできる体制に努めたが、年間廃止者 27 名 (68 枠) に対して新規 16 名 (16 枠) 及び増回 25 枠の合計 41 枠と減少に対して新規・増回が追いつかず、利用者減少に至ってしまった。今後は法人内事業所だけでなく、他事業所との連携をより強化する為の取り組みを行い、利用者の獲得を徹底していくことが必要である。

年間行事実施状況

月	行 事	実施日	外出リハビリ
4月	お花見ドライブ だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売	～4/2 第三火曜日 毎週土曜日	
5月	季節の湯(鯉のぼりの湯) だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売 朗読ボランティア・葉(4名) 新緑散歩	4/30～5/12 第三火曜日 毎週土曜日 5月29日 5/14～5/26	喫茶ツアー(半日) 未実施
6月	だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売	第三火曜日 毎週土曜日	
7月	デイ開設記念行事 生け花クラブ だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売 季節の湯(南国風呂)	7月1日 7月24日 第三火曜日 毎週土曜日 7/23～8/4	
8月	夏祭り(勸修地域女性会19名参加) 長楽園夏祭り参加 だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売 認知症サポート連絡会 寛ぎの家勸修夏祭り参加	8/20～8/22 7月28日 第三火曜日 毎週土曜日 8月2日	
9月	敬老式典(京ほんなり銭太鼓・棒踊り) (マイルド山本マジックショー・大道芸) だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売 次世代育成事業(大宅小学校4年生4名)	9/11～9/17 第三火曜日 毎週土曜日 9月14日	9/18 京都水族館
10月	生け花クラブ ドッグセラピー(犬6匹) だいが学園ドーナツ販売 勸修謳歌福祉フェア 炭窯ふわりパン販売	10月12日 10月26日 第三火曜日 10月6日 毎週土曜日	10/9 京都水族館 10/23 京都水族館
11月	紅葉ドライブ だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売 チャレンジ体験(西京中学3名) 季節の湯(紅葉の湯)	11/19～12/1 第三火曜日 毎週土曜日 11月8日 11/19～12/1	お食事ツアー(全日) 未実施
12月	クリスマス会(FMCハワイアンバンド) 炭窯ふわりパン販売 季節の湯(ゆず風呂) 消防訓練 山科義士祭り	12/19～12/25 毎週土曜日 12/22～12/28 12月26日 12月14日	お食事ツアー(全日) 未実施
1月	初詣(三宮神社) 炭窯ふわりパン販売 新春お楽しみ会	1/4～1/10 毎週土曜日 1/11～1/17	コンビニ買い物 (セブンイレブン) 希望日に実施
2月	勸修小学校福祉学習(4年生60名) だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売	2/19. 22. 25 第三火曜日 毎週土曜日	コンビニ買い物 (セブンイレブン) 希望日に実施
3月	消防訓練(立ち会い) 炭窯ふわりパン販売 ひな祭り行事	3月18日 毎週土曜日 3/1～3/7	コンビニ買い物 (セブンイレブン) 希望日に実施

※不定期東山総合支援学校の実習受け入れ

※不定期介護等体験受け入れ

(3)小規模多機能型居宅介護事業所 寛ぎの家勸修

1)基本方針

- ①「いつでも安心、寛ぎ(くつろぎ)の家」その人らしさを尊重し、住み慣れた地域で安心した暮らしの継続をサポートし、第二の我が家(家庭)を目指す。
→ 開設した当初から運営基本方針は変えずに実施できた。
- ② 平均利用者登録 25 名の安定した利用を達成するため新規利用者の確保及び現在登録されている利用者の体調管理をおこなうと共に感染症予防を徹底する。
→ 目標登録人数を達成することができたが、風邪を蔓延させてしまった。
- ③ 地域包括ケアシステムの取り組みに向けて地域、医療との連携、情報交換を密におこない、ニーズの把握をおこなうと共にネットワーク構築を強化し、切れ目のないサービス提供をおこない、地域の拠点となるよう努める。
→ 積極的に地域に出向き、他機関や地域住民とのネットワーク構築もおこなえた。
- ④ 昨年度の計画を基本として見直し、家庭的な雰囲気、快適な空間、ご利用者の個々のニーズを把握し質の高いサービス提供ができるよう、チーム力強化に向けて団結力ができる事業所作りを目指す。
→ 全利用者のニーズに応えられたとは言えないが、年間計画の行事等は実施できた。チーム力強化に向けての所では団結力ができたとは言えず次年度に繋げる。

2)重点的な取り組みに対する成果及び評価

- ・毎月安定した利用登録者平均 25 名確保は実施でき、スムーズに新規受け入れ等もおこなえたことは成果であった。
- ・地域との関係性も深まり、町内会議での場所の提供、イベントや地域の防災訓練に参加し顔の見える関係作りができ地域の拠点となってきたことは成果である。
- ・利用者の ADL・OOL の維持、向上に向けて個別のリハビリ支援は全利用者に対応できたとは言えず次年度への課題である。
- ・職員間の「報、連、相」を徹底し、情報の共有の強化することについて周知徹底していたがパート、派遣職員も多く職員全てに浸透できず、徹底できなかったことは次年度の課題である。
- ・職員確保が難しく、派遣職員で対応することで業務分担ができず、同じ職員に負荷がかかっており、次年度対策が必要である。

Ⅲ. 行事・取り組みの報告

	事業所内行事	外出行事
4月	お花見	喫茶ツアー(キョーワーズコーヒー)
5月	地域交流会 (バザー&オープンカフェ等)	新緑ドライブ、散歩 春の遠足(京都市動物園)
6月	ゲーム大会	買物ツアー(モモテラス)
7月	消防訓練 七夕行事	外出アクティビティ(がんこ寿司)
8月	夏祭り(利用者向けと地域向け)	地藏盆 カラオケ(カラオケバンバン)
9月	敬老のお祝い 家族交流会 写真展(売り出し)	個別外出ツアー(希望先)
10月	秋の運動会	区民運動会参加(小野学区) 秋の遠足(びわこ大津館) 勸修寺みこし祭
11月	地域との交流会 (バザー&食事会)	外出アクティビティ(近江牛叡山) もみじドライブ
12月	クリスマス会 もちつき大会	山科義士まつり カラオケ(カラオケバンバン)
1月	元旦のお祝い 新年会	初詣 買物ツアー(アルプラザ醍醐)
2月	節分(豆まき) 消防訓練(地域合同)	外出アクティビティ(がんこ寿司)
3月	ひな祭り 写真展(売り出し)	個別外出ツアー(希望先)

2.公益事業

(1)京都市勧修地域包括支援センター

1)基本方針

① 地域ケア会議を軸として、課題解決に向けた支援ネットワークの強化を目指す。

→ 個別地域ケア会議の開催件数が増加した。学区地域ケア会議では地域役員と訪問状況等の情報交換ができた。日常生活圏域地域ケア会議では「消費者被害」を取り上げた。

② 健康寿命を延ばすため、介護予防を推進する。

→ 山科・醍醐地区の地域包括支援センター保健師看護師部会として、介護予防啓発のイベントを2回おこなった。公園体操を支援し、山科区介護予防推進センターと連携した。各学区の健康すこやか学級などで介護予防啓発をおこなった。

③ 安心、安全な居場所等の運営等

→ 「ぽかぽかサロン」を継続し、内容の合理化に取り組んでいる。福祉避難所準備の取り組みはできなかった。

2)重点的な取り組みに対する成果及び評価

- ・個別地域ケア会議を7件おこなった。個別地域ケア会議開催の意識が職員に生まれ昨年より増えた。職員個々に実施件数目標があるため、引き続きその達成に向けて取り組む。
- ・認知症啓発等に取り組めた。認知症初期集中支援チームを積極的に利用した。「やましな認知症サポート連絡会」で「認知症カフェフォーラム」を実施し、「認知症カフェ」が圏域内で行われるようになった。初めて、山階南小学校4年生と勧修小学校4年生対象に認知症サポーター養成講座をおこなうことができた。他の包括が行った「認知症声掛け訓練」の見学に行き、山階南学区地域ケア会議で「認知症声掛け訓練」の説明をおこなった。
- ・既存のフォーマル（総合事業の支え合い型ヘルパー、生活支援型ヘルパー）、インフォーマル資源（ボランティア活動、居場所等）を改めて把握し、整理することはできなかった。

(2) かんしゅうケアプランセンター

1) 基本方針

- ① 地域で暮らすご利用者、ご家族等一人ひとりの状態を把握し、希望や心身の状況に合わせて、必要なサービスを相談、調整し、安心できる在宅生活が継続できるよう支援する。
 - サービス事業所の閉鎖や人員不足が表面化してきた1年であったが、利用者様、家族様に大きな混乱なくマネジメントが出来た。
- ② 介護保険法の理念である“利用者の尊厳”が守られるよう適切にマネジメントを実行する。
 - 外部・内部研修などを通して利用者へのアセスメントを意識することを心がけることが出来た。
- ③ ケアマネジャー(職員)個々の専門性を活かし、協議、検討をしながら相談業務にあたり、“利用者の自立支援”につながるようケアマネジャー自身の資質向上を目指す。
 - 職員個々に研修計画を作成し、管理者と確認しながら可能な限り研修参加機会の確保に努め、自己研鑽に励むことが出来た。特に今年度は新たに事例検討会を実施するなど、新しい取り組みにも積極的に参画できた。
- ④ 法人内他事業所との連携の中核になり、ケアマネジャーの専門性や情報を共有できるよう努める。
 - 体制の見直しなどもあり年度後半に担当件数が伸び悩むなかで、新規依頼を全て受け入れることは出来なかった。数件は当居宅を指名で支援希望して下さる家族様・事業所などもあり、より良い連携・情報共有には検討を深めていきたい。

2) 重点的な取り組みに対する成果及び評価

- ・介護保険法改正に伴い、新たに他法人との事例検討会を実施することが必要になった。今年度は京都福祉サービス協会と年間で3回の事例検討会を実施。居宅内部で行う検討会とは違う気づきや示唆を得られる貴重な機会となったと感じている。
- ・利用者アンケートを実施（結果は居宅広報誌を初作成して利用者に報告）することが出来た。結果からは、職員の立ち振る舞いへの高い評価、逆に制度面の知識不足への不満が明らかになった。今後の研修計画作成にも参考にしていきたい。

平成30年度 事業報告(統計)

I 利用者年齢、介護度分布(平成31年3月31日現在の在籍利用者)

1) 年齢分布

	長期入所	短期入所	デイサービス	寛ぎの家
～69歳	0	0	0	1
70歳～79歳	8	4	3	6
80歳～89歳	22	11	20	16
90歳～99歳	17	6	37	4
100歳以上	2	0	1	0
平均年齢	86.7	84.7	86	83.2

2) 利用者年齢

最高年齢	106	97	102	94
最低年齢	74	71	70	61

3) 性別

男性	7	7	17	8
女性	42	14	44	19

4) 介護度分布

要支援1		0	3		
要支援2		0	5		
要介護1	0	3	14	2	
要介護2	1	7	25	9	
要介護3	15	11	5	9	
要介護4	17	7	8	4	
要介護5	16	6	1	3	
平均要 介護度	30年 29年	4 3.9	3.4 3.4	1.9 1.9	2.9 2.8

長楽園(長期・短期)、勸修デイ、寛ぎの家

II 実績の報告

1) 利用者延べ数、 1日の平均数

	長期+短期	勸修デイ	寛ぎの家			
			通い	泊り	訪問	
4月	延べ	1,589	610	486	159	474
	1日平均	53.0	24.4	16.1	5.3	15.8
5月	延べ	1,665	663	500	160	493
	1日平均	53.7	24.6	16.1	5.2	15.9
6月	延べ	1,571	618	499	154	475
	1日平均	52.4	23.8	16.6	5.1	15.8
7月	延べ	1,651	622	541	166	482
	1日平均	53.3	23.9	17.5	5.4	15.5
8月	延べ	1,661	653	548	160	586
	1日平均	53.6	24.2	17.6	5.2	18.9

		長期+短期	勸修デイ	寛ぎの家		
				通い	泊り	訪問
9月	延べ	1,487	554	488	147	507
	1日平均	49.6	23.1	16.3	4.9	16.9
10月	延べ	1,644	588	544	167	511
	1日平均	53.0	21.8	17.5	5.4	16.5
11月	延べ	1,600	552	488	150	445
	1日平均	53.3	21.2	16.3	5.0	14.8
12月	延べ	1,605	513	513	152	474
	1日平均	51.8	20.5	16.5	4.9	15.3
1月	延べ	1,591	471	488	110	498
	1日平均	51.3	19.6	15.7	3.5	16.0
2月	延べ	1,481	477	445	90	478
	1日平均	52.9	18.2	15.9	3.2	17.1
3月	延べ	1,635	527	508	123	517
	1日平均	52.8	20.2	16.4	3.9	16.7
合計	30年	19,180	6,848	6,048	1,738	5,940
	29年	19,539	7,964	6,230	1,879	2,966
1日平均	30年	52.5	22.2	16.5	4.8	16.3
	29年	53.5	25.7	17.0	5.2	8.1

※寛ぎの家の訪問延べ数は1日に複数回利用した場合も含める

2) 利用稼働率

		長期+短期	勸修デイ	寛ぎの家		
				通い	泊り	訪問
4月	30年	98.1%	69.7%	89.4%	75.7%	5.6%
	29年	98.5%	74.5%	85.2%	68.0%	6.1%
5月	30年	99.5%	70.1%	89.6%	73.7%	5.4%
	29年	99.0%	76.8%	83.5%	72.8%	6.0%
6月	30年	97.0%	67.9%	92.4%	73.3%	5.4%
	29年	100.7%	75.9%	77.4%	53.3%	5.6%
7月	30年	98.6%	68.3%	96.9%	76.4%	5.6%
	29年	100.4%	75.4%	80.6%	58.1%	4.9%
8月	30年	99.2%	69.1%	98.2%	73.7%	4.7%
	29年	99.1%	71.5%	86.6%	67.3%	4.9%
9月	30年	91.8%	63.3%	90.3%	70.0%	5.3%
	29年	100.0%	75.2%	94.8%	68.1%	6.0%
10月	30年	98.2%	59.0%	97.5%	76.9%	5.1%
	29年	99.8%	76.0%	97.0%	69.1%	5.5%
11月	30年	98.8%	60.6%	90.4%	71.4%	5.8%
	29年	97.6%	77.0%	96.2%	67.6%	5.7%

		長期+短期	勧修デイ	寛ぎの家		
				通い	泊り	訪問
12月	30年	95.9%	58.6%	91.9%	70.0%	5.5%
	29年	97.7%	75.8%	96.1%	80.1%	5.8%
1月	30年	95.0%	56.0%	87.5%	50.7%	5.4%
	29年	100.1%	68.5%	91.0%	87.1%	5.3%
2月	30年	97.9%	56.7%	88.3%	46.0%	5.6%
	29年	99.5%	67.4%	93.8%	84.2%	5.7%
3月	30年	97.7%	57.9%	91.0%	56.7%	5.2%
	29年	97.1%	66.1%	86.7%	74.2%	5.3%
1ヶ月 平均	30年	97.3%	63.1%	92.0%	67.9%	5.4%
	29年	99.1%	73.4%	89.1%	70.8%	5.6%

※寛ぎの家訪問稼働率は利用登録者数/利用回数(1ヶ月合計)で算出、
 以外は利用者延べ数/届出上の定員(1ヶ月合計)で算出

3)新規利用者数

		長期入所	短期入所	勧修デイ	寛ぎの家
4月		1	5	1	0
5月		2	0	2	0
6月		0	2	0	0
7月		0	3	1	1
8月		0	0	2	0
9月		1	1	1	0
10月		0	3	0	0
11月		1	0	1	0
12月		3	1	6	1
1月		0	0	0	2
2月		2	1	2	1
3月		1	2	0	1
合計	30年	11	18	16(25)	6
	29年	9	12	13(27)	15
1ヶ月 平均	30年	0.9	1.5	1.3(2.0)	0.50
	29年	0.8	1	1.1(2.3)	1.3

4)新規内訳

	長期入所	短期入所	勧修デイ	寛ぎの家
在宅からの利用	6	18	16	6
施設からの利用 (病院含む)	5	0	0	0
その他	0	0	0	0

5) 廃止利用者数

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
4月		2	0	3	1
5月		1	0	0	0
6月		0	0	3	0
7月		0	1	2	0
8月		0	0	1	1
9月		1	1	3	1
10月		1	1	3	0
11月		3	1	0	1
12月		0	2	1	1
1月		2	0	7	1
2月		0	1	1	1
3月		2	0	3	0
合計	30年	12	7	27	7
	29年	9	6	20	11
1ヶ月 平均	30年	1.0	0.6	2.3	0.6
	29年	0.8	1.0	1.7	0.9

6) 廃止内訳

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
長期入院		0	0	6	2
施設入所		0	3	5	4
他サービスへの移行		2	3	3	1
事業所内死亡		6	0	0	0
病院内死亡		4	1	10	0
その他		0	0	3	0

※他サービスへの移行: 長期入院は在宅復帰を含む

7) 事故報告、内訳
(行政報告分)

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
死亡		0	0	0	0
骨折		3	0	0	3
火傷		0	0	0	0
創傷		1	1	0	5
誤嚥		0	0	0	0
異食		0	0	0	0
薬の誤配		0	1	0	1
財物の損壊・減出		0	1	0	1
従業員の法令違反		0	0	0	0
交通事故 加害者又は自損の場合		0	0	0	3

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
交通事故 被害者の場合		0	0	0	0
その他		3	0	0	1
合計	30年	7	3	0	14
	29年	14	1	2	8

8) 相談・苦情件数

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
ケアに関する事		1	0	0	1
接客に関する事		0	0	0	1
情報に関する事		0	0	0	0
金銭に関する事		0	0	0	0
制度に関する事		0	0	0	0
その他		2	0	0	0
合計	30年	3	0	0	2
	29年	0	2	2	2
うち第三者委員 報告分	30年	0	0	0	0
	29年	0	0	0	0

かんしゅうケアプランセンター・勸修地域包括支援センター Ⅲ 実績の報告

1) 利用者、新規、廃止利用者数

給付管理発生分(計画費算定分)

	勸修包括			かんしゅうケアプランセンター			
	給付管理	新規	廃止	給付管理	新規	廃止	
4月	395	16	10	135	5	1	
5月	406	17	6	140	1	1	
6月	409	17	14	133	1	2	
7月	419	10	5	140	4	1	
8月	429	16	6	131	0	2	
9月	419	5	15	128	2	6	
10月	412	16	23	126	0	3	
11月	413	9	8	125	3	1	
12月	411	9	11	127	4	3	
1月	418	16	9	121	2	9	
2月	422	11	7	119	1	1	
3月	420	10	12	112	0	2	
合計	30年	4,973	152	126	1,537	23	32
	29年	4,543	128	104	1,621	32	25

2)登録、相談、申請内容(年間総数)
給付管理発生しない方含む

	勸修包括		かんしゅうケア	
	30年	29年	30年	29年
台帳登録人数	428	430	38	34
虐待等への支援件数	27	6	1	1
成年後見制度活用 支援件数	5	2	3	1
ケアマネ後方支援	9	8		
申請代行件数	156	126	8	3
区分変更件数	42	34	19	12
訪問調査件数	156	341	139	139
入院件数			45	55
退院件数			33	51

3)新規登録者内訳

	勸修包括	かんしゅうケア
家族、本人が直接相談	95	10
区役所からの紹介	4	0
包括支援センターからの紹介	2	17
近隣住民からの紹介	6	2
他のサービス事業所からの紹介	33	5
その他	11	3

4)廃止登録者内訳

	勸修包括	かんしゅうケア
長期入院	22	7
長期入所	0	4
転居	5	1
他のサービス事業所へ移行	50	7
死亡	4	13
その他	45	1

※他のサービス事業所への移行:(包括)要介護への等級変更に伴う事業所変更も含む

5)事故報告、内訳
(行政報告分)

	勸修包括	かんしゅうケア
死亡		0
骨折		0
火傷		0
創傷		0
	勸修包括	かんしゅうケア
誤嚥		0
異食		0
薬の誤配		0
財物の損壊・減出		0

従業員の法令違反		0
交通事故 加害者又は自損の場合		0
交通事故 被害者の場合		0
その他	6	0
合計	30年	6
	29年	0

6) 相談・苦情件数

		勸修包括	かんしゅうケア
ケアに関すること			0
接客に関すること		3	0
情報に関すること			0
金銭に関すること			0
制度に関すること			0
その他			0
合計	30年	3	0
	29年	0	1
うち第三者委員 報告分	30年	0	0
	29年	0	0